

平成29年3月号



鳥取県立 農業大学校

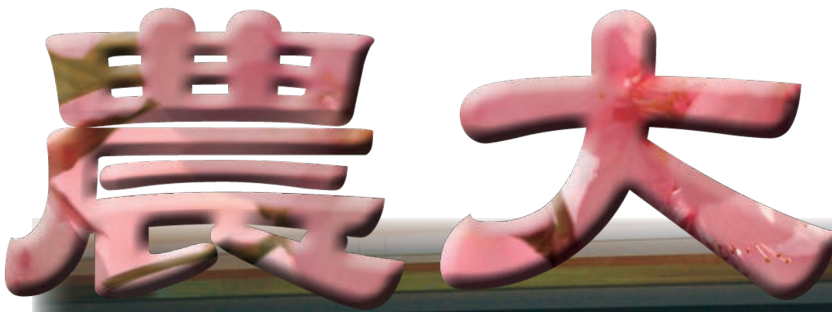
〒682-0402 倉吉市関金町大鳥居1238

TEL 0858-45-2411

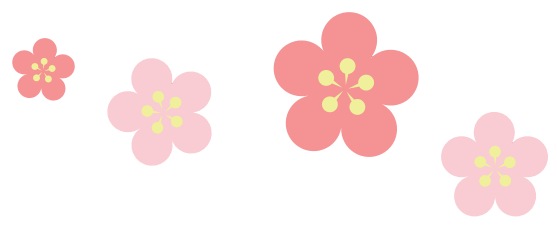
FAX 0858-45-2412

E-mail : [nogyodaigaku@pref.tottori.jp](mailto:nogyodaigaku@pref.tottori.jp)

HP : <http://www.pref.tottori.lg.jp/noudai/>



卒業論文発表会で発表する井上さん



## 「失敗から学ぶ」

校長 爲計田 ひろみ

一月十二日に平成二十八年度の卒業論文発表会を開催しました。この発表会は二年生がプロジェクト学習の成果をまとめて発表するもので、農業大学校二年間の学習の集大成です。新たな品種や技術の導入による経営強化や六次産業化に挑戦したものなど内容は多彩で、各自がテーマを決め、作物を育て、牛を飼育しながら調査研究してきたものです。

「失敗した時は、なぜうまくいかなかったかを考え再びやってみる。」プロジェクト学習でたどってきた試行錯誤の取り組みこそ、成功へ繋がるやり方です。

失敗するんじゃないかと恐れ、初めから挑戦をやめてしまうことはありませんか。失敗は前に進むためのエネルギーです。失敗が考える幅を広げ、厚みを増してくれれます。

さあ、今スタートの時、学生・研修生の皆さん、失敗を怖れず挑戦しましょう。

H28年度

# 校内卒業論文発表会

## を開催しました!!

1月12日、卒業論文発表会を開催しました。本校では、学生が自ら設定した課題の解決を図る「プロジェクト学習」を教育の柱にしています。そのプロジェクト学習の成果を、養成課程の2年生21名がそれぞれ発表しました。

校内審査で金賞に選ばれた井上さん、銀賞の谷川さんは、鳥取農大の代表として、中国四国ブロック農業大学校プロジェクト発表会にも出場しました。残念ながら、2月に東京で開催された全国プロジェクト発表会への出場とはなりませんでしたが、2名とも素晴らしい発表をしてくれました。

金賞

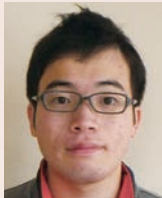


井上 桃香 (果樹コース)

～モモの所得向上を目指して～

金賞を取れてとてもうれしいです。ドレッシング作りは大変でしたが、完成してとても充実しています。この経験を活かして、今後何事にもチャレンジしたいです。

銀賞



谷川 雅夢  
(作物コース)

～中生品種「きぬむすめ」における  
収量向上の検討～

今回、銀賞に選ばれるとは思っていなかったのですが、とても驚きました。協力していただいた先生方や作物科の仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

銅賞



上林 耕  
(果樹コース)

～祖父のブドウ園を再建するために～

惜しくも銅賞でしたが、この結果は先生や果樹科の仲間の協力があったからだと思います。この経験を今後の人生に活かしたいと思います。

## 意見発表会開催!

12月1日、校内意見発表会を開催しました。将来の夢や農業に対する想い、また、将来の就農に向けての決意などについて日頃思っていることを、1年生20名が発表しました。

果樹コースの笹原さんは、学校代表として、1月26日に愛媛県松山市で開催された中国ブロック農業大学校等意見発表会でも堂々と発表を行いました。

(校内意見発表会の受賞者)



最優秀賞  
果樹コース  
笹原 洸希  
「私のDream」



優秀賞  
畜産コース  
近藤 あゆみ  
「私の思いから見た今の農業」



優秀賞  
果樹コース  
池本 麻祐  
「私の将来の夢」

## ～出会いから始まった <sup>ドリコム</sup> 私のDream～

(1) Dreamの胎動 .....

私のDreamが動き始めたのは、小学校2年生の時。とある大学の試験圃場での事。目の前の綺麗な色をしたブドウを一粒食べて感動し、それからブドウに夢中になった。収穫体験をとおり農業が人を笑顔にしてくれることを体感した。



(2) 憧れの人との出会い .....

収穫体験に参加し、ブドウ以外に私の印象に強く残っている事がもう一つある。それは、「収穫方法などを教えてくれた職員の方」。その方の働く姿をとおり「ブドウの美味しさを伝えたり、子供に夢を与えられる大人になりたい!」という強い憧れを持つようになった。

(3) Dreamの実現のために .....

私のDreamとは「ブドウの観光農園」を開く事。そして、これからの農業のイメージを「マイナスの3K」から「プラスの3K」に変えること。私のDreamは憧れの人との出会いから動き出した。私の観光農園では、ブドウをとおり、たった1つの収穫物でも人の価値観が変わるという事を感じてもらいたい。

(最優秀賞 果樹コース 笹原 洸希さん「私のDream」要旨)

# 各コース紹介

## 果樹コース

現在、果樹コースの学生数は8名、研修生数は2名で、職員3名で指導にあたっています。

栽培樹種はナシ、ブドウ、モモ、リンゴ等で全体の栽培面積は約1haです。

鳥取県オリジナル品種であるナシの「新甘泉」「秋甘泉」、近年非常に人気の高いブドウ「シャインマスカット」も導入しています。

また、ナシの新技术である「ジョイント仕立て」にも取り組んでいます。



## 野菜コース

野菜コースはひとりひとりが責任をもって、野菜を栽培しながら色々な勉強をしていきます。

ひとりが2~3品目以上の野菜を担当し、ハウスも畑も自分で管理します。

「自分の野菜」ができたときの喜びは何ともいえません。みんな目指すぞ!!野菜作りの達人!!



## 花きコース

花きコースでは、鳥取県の代表的な切り花、花壇苗などを中心に様々な花を栽培し勉強しています。

また、「花育」活動にも取り組んでおり、自分たちの育てたビオラ、ガーデンシクラメン等を使い、近隣の保育園で寄せ植え教室を開催しています。



## 作物コース

作物コースでは、お米を中心に黒大豆、小豆、白ネギやブロッコリー、サツマイモなどの栽培実習をしています。また、加工実習も行っており、農大市で餅やスイートポテトを販売しました。



## 畜産コース

現在、畜産コースでは、1年生6名、2年生3名合計9名が将来の就農、法人就農等を目指して乳牛（搾乳牛17頭）、和牛

（成牛10頭）の飼養管理そして飼料作物（延べ作付け面積10.4ha）の栽培及び収穫管理の講義や実習に日々打ち込んでいます。

即日では身につかない牛の異常及び発情を発見する力、さらに大型機械や搾乳に関する専門技術について毎日の積み重ねで身に付け、自分のものにしていきます。



## 研修科

研修科では、社会人を経て就農を志す方向けに様々な研修を行っています。公共職業訓練「アグリチャレンジ科」では、農業機械の操作方法など、農作業の基本技能をマスターできる4ヶ月間のカリキュラムを運営するほか、就農品目の栽培技術及び経営感覚の習得を目的とした模擬経営方式の研修（スキルアップ研修（12ヶ月間））、先進農家で実践ノウハウを習得する派遣型研修（先進農家実践研修（12ヶ月間））など、ニーズに応じた研修を御提案しています。





# 祝 卒業おめでとうございます

各科卒業生から1年生へ、1年生から卒業生へ  
メッセージをいただきました。



## 卒業生からのメッセージ

2年間という短期間で、専攻実習等とおして多くの事を学ぶ事ができ充実した学校生活でした。ここでの経験を活かして、この先も頑張ります。

2年間、先生方には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

新2年生の皆さん、新入生と共に新鮮な気持ちで、元気な果樹コースになるよう頑張ってください。

## 果樹コース



## 卒業生へのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。

1年という決して長くはない間でしたが、様々な事を教えていただき、とても濃厚な時を過ごせました。

今後それぞれの道へ進まれ、厳しい事も多いと思いますが、農大で学んだ事を忘れず頑張ってください。私たちも、新入生に信頼される先輩になれるよう努力します。

2年間お疲れ様でした。

## 野菜コース

先生、職員の方々には2年間大変お世話になりました。

農業について初めてのことで不安がありましたが、機械操作や担当品目の管理作業など様々なことを学びました。

今日までを振り返ると、人間的にも成長でき、貴重な経験となりました。

また、周りの方々のおかげで学校生活を楽しく過ごすことができました。

社会に出てからも、農大でのことを忘れず、頑張ります。

1年生の皆さん、残りの学校生活を悔いのないように、一日一日を大切に過ごしてください。



2年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが卒業され、次は私たちは2年生になり、新しい1年生が入学します。私たちが1年生を導けるように頑張っていきたいと思っています。就職後も元気でお仕事頑張ってください。

## 卒業生からのメッセージ

2年間お世話になりました。長いようで短い学校生活でした。入学してからは、農業を学び、人との交流を深める中で、社会人としての常識が磨かれ、私自身の心と体も大きく成長することが出来ました。ここまで成長させてくれた先生方、花きコースの皆さん、本当にありがとうございました。



## 卒業生へのメッセージ

ご卒業おめでとうございます。  
1年間という短い間ではありましたが、大変お世話になりました。  
卒業しても花きコースであった思い出を忘れず、先輩らしく頑張ってください。  
応援しています。

## 作物コース

入学当初は長いと思った2年間も振り返ればあっという間に感じる農大生活でした。この2年間、先生方には大変お世話になりました。何もわからなかった私たちを時には厳しく、時には優しく指導していただいたおかげで、ここまで成長することができました。本当にありがとうございました。1年生諸君、農大生活は短い。お互いに助け合いながら楽しく、悔いのない日々をすごしてください。



ご卒業おめでとうございます。  
いままでたくさんのことを教えていただきありがとうございました。2年生の皆さんに教えていただいたことを活かしてあと1年過ごしていこうと思います。  
1年間本当にありがとうございました。

## 畜産コース

長いようで短かった2年間でした。この2年間で農業や人付き合いなど様々な事を学ばせて頂きました。とても楽しい2年間になりました。これから社会に出てたくさんの壁に当たるとは思いますが、農大で学んだ事を活かして粘り強く頑張っていこうと思います。先生方、2年間本当にお世話になりました。



ご卒業おめでとうございます!!  
先輩方と過ごした1年間は、私の大切な思い出です。優しく、時には厳しく指導して頂いたこと、たくさんお話しさせてもらったこと…。絶対に忘れません。社会人になると、色々大変だとは思いますが、農大での2年間の思い出を前へ突き進んで下さい。応援しています。1年間、本当にありがとうございました。

## 研修科

### スキルアップ研修修了者の感想

研修を通して、野菜の栽培技術や機械操作、農業経営など幅広く学ぶことができました。さらに、農家視察や現地実習も組んでいただき、より実践的な経験も積むことができ、とても有意義な研修だったと思います。  
今はまだ農業の経験も浅く不安もありますが、農大で培った経験や研修を通して得られた様々なひととのつながりを大切にし、農業の道を突き進んでいきたいと思っています。



## 平成29年度の新規講座の紹介

農業大学校では、これから農業を目指す学生や社会人研修生等を中心に研修教育プログラムを実施してきましたが、平成29年度新たに高校生や現役農業者（農業経営者）を対象にした講座を開催することにしましたので、その概要を紹介いたします。

なお、日程等詳細は後日ホームページ等でお知らせしますので、ご希望の方は是非ご覧ください。

### 食の6次産業化プロデューサー育成講座（通称：食Pro. 講座）

「6次産業化」という言葉をよく耳にします。「農業を初めとする“第1次産業”×「その生産物を加工する“第2次産業”×「できあがった製品を販売する“第3次産業”」をとおして行う取り組みです。

食Pro. 講座は、実践的な職業能力の評価・認定により人材育成を進めようと平成24年に内閣府が創設したキャリア段位制度の対象となるもので、レベル1～6のうち農大ではレベル1・2を実施します。この講座は、単に加工・販売技術の習得ではなく、6次産業化の実施に当たって必要な知識や開発販売手法、事業計画の策定などのマネジメント力を身に付けていただきます。

高校生から一般の方まで、6次産業化の取り組みに関心のある方を対象に講座を開催します。



様々な分野の専門家（講師）から指導助言いただきます。

### とっとり農ビジネス研修

いろいろな分野で価値観の多様化が進む中、農業も例外ではなく鳥取県においても農業経営者の意識は大きく変化してきています。戦略的に新たな経営展開をするに当たり、これまで以上に幅広くスキルを身に付けステップアップし、さらにはネットワークを構築することが重要です。

経営コンサルタントの専門家を講師に招き、経営の発展強化・拡大を目指す農業経営者を対象に受講者自身の経営も題材にしながら講座を進めます。

### 毎日農業記録賞で“野菜コース1年西田さん”が一般部門優良賞を受賞！

第44回毎日農業記録賞で、野菜コース1年西田将貴さんが一般部門優良賞を受賞しました。西田さんは「私の農業」と題し、「今は耕作されていない実家の畑で農業を始めたい、自分の手で畑作を復活させたい、その地にあった作物を育てていきたい」と、農業への熱い思いをつづりました。

西田さん、おめでとうございます。



## 平成30年は農大創立90周年です

### —— 記念事業に多数の御参加をお願いします

本校は昭和4年2月22日に（財）山陰国民高等学校として開校以来現在に至るまで、多くの卒業生等を送り出し地域農業振興の一翼を担って参りました。

来年は90周年という節目の年を迎えることから、記念事業の実施団体として実行委員会を先日設立し、記念事業の時期や内容等を現在検討しています。

事業内容や実施時期等が決まりましたら改めて御案内させていただきますので多くの方の御参加をお願いします。



80周年記念式典（平成20年）の様子